

# 6月 うさぎぐみだより

令和元年 6月17日(月)発行 担当：上間綾子



「お外にいくよ」と声を掛けると自分から帽子を取り出す子も見られます。晴れた日は、クラス半分の子ずつ園庭で遊んでいます。手をよく動かして遊ぶ**砂遊び**は、乾いた砂のサラサラや水に濡れたドロドロなどの感触を味わったり、砂をすくったり握ったり、また、スコップで容器に砂を入れたりこぼしたりも加わり、指先の発達には良い効果が沢山です。また、歩きにくい砂地をトコトコ歩いたり（バランス感覚）砂場に座り込んでそこから立ち上がるのも運動にもなるんですよ。砂がケーキやアイスになって食べる真似を楽しむ見立て遊び（想像力）保育士や友だちとの「これなあに」「ケーキ」などの対話、道具の貸し借りなど（コミュニケーション力）砂遊びはシンプルですが、子どもの成長にはメリットが、本当に多くあります。



ところで**左絵**のように、うさぎ組の子は保育士が作ってあげた型抜きケーキを次々と壊すことに、躍起になるほど楽しむ姿も見られます。砂に限らずどんな物も子どもは、壊すことから始めます。壊しながら指先から、その素材の感触や性質を感じ取っていくようです。

さて、いよいよ子ども達が大好きな**水遊び**も加わります。しかし、鼻水、咳など体調が悪い日は、保育士に声をお掛け下さい。宜しくお願いします。

砂遊び  
楽しいな！



## おおよそ4月～9月生まれのお友だち

無言で玩具を奪ってしまったり「貸して」「イヤ」などとだんだん自己主張が強くなったり、互いの主張がぶつかり合うことが増えてきました。でも、子ども達はぶつかり合いを通して、相手の気持ちに気づいたり、自分の思いを伝える経験をしたりして、人とどうつながっていくかを学んでいくようです。（行きつ戻りつつしながら・・・）忍耐強く、あたたかな目で見守ってまいります。

※おおよその姿です。個人差があります。

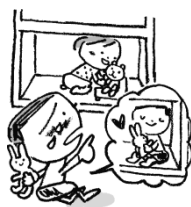
## おおよそ10月～3月生まれのお友だち

小さな容器にチェーン、積み木、食べ物の玩具を入れてはこぼしを繰り返したり、カゴに入った玩具をひっくり返したり、ポットン型落としの玩具で遊ぶなど、探索遊びが盛んです。そんな一人での探索遊びがメインで、友だちと一緒に遊ぶの思いはまだこれから！探索遊び、一人遊びはとても大切です。自分で考えての一人遊びが集中して出来るようにしていきたいです。

### 子どもの姿



### 場所へのこだわり



型落とし 指先、手首のコントロール



指差しは言葉の前の言葉で重要。

「～したいんだね。でもね、少し～してみようか」の言葉掛けを心掛けています。



### 帰りのお迎えのお願い

夕方になると先に帰っていくお友だちのお迎えを見て「早く私のお迎え来ないかなあ」と待ちわびる姿が見られます。園にきょうだいのいる子はまず、0.1.2歳児クラスの小さな子からのお迎えをお願いします。(カバンなどの荷物の受け取りは、幼児クラスのきょうだいのお迎えの後でも構いません) 宜しくお願いします。